

## 【熊本県納税貯蓄組合連合会会長賞】

### 税金の大切さ

上天草市立大矢野中学校

三年 片山 富楓

私は税金についてよくわかりませんでした。なので税金といえど何があるだろうと考えてみました。インターネットで調べてみました。

税金には課税主体が国である「国税」と地方公共団体である「地方税」があります。税金の種類は約50種類あります。国税には所得税、相続税、消費税、自動車重量税などがあり地方税には、住民税、事業税、固定資産税などがあります。

私が知っている税金の種類は消費税や自動車税、住民税などで、こんなにたくさん税金の種類があつておどろきました。また、このたくさんの種類の税金はどのようなことに使われているのだろうと思いました。

そこで私たちの生活に使われている税金はどんなものがあるか調べてみました。学校や公園などの公共施設や災害復興の費用、警察や消防・救急の運営などで使われていることが分かりました。私達が通っている学校の施設や道具に税金が使用されていることを知り、大切に扱おうと思いました。今あげたものの以外で、私が身近なことで税金が使われていると思ったのは、私たちがケガをしたりカゼをひいたりした場合に病院にかかるときの医療費です。私が住んでいる上天草市は、高校生まで病院にかかるときに必要な医療費がかかります。私は最近まではそれが一般的なことだと思っていたけど、都道府県や市町村によつてはそうでないということを知りました。また、医療に関することと言うと、ここ数年日本でも流行している新型コロナウイルスのワクチンも税金によつて負担されています。今までは税金なんてなんで払わないといけないのかと思うこともありましたが、今回税金について色々調べていく中で、税金はただ払わされているのではなく、私たちが生活したり学習したりするために必要な公共施設などの設備をつくることに使われたり、医療費の負担をしたりしていることが分かりました。税金は私たちの暮らしを支えてくれるものだと思います。

働いている人たちが支払っている税金のおかげで私は勉強することができたり病気にかったとき治療してもらえたりしているので税金を払っている親や大人に感謝して大人になったらしつかり税金を払おうと思いました。